

会 議 録

会議名	平成 25 年度第 2 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 25 年 10 月 31 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 15 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、佐藤栄子、佐藤一、田野倉宏和、藤岡換太郎、本田怜子、山中幸生、吉田幸子（50 音順）
	事務局	牛山清志生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）、田島巨樹郷土資料館長（文化財課長）、森融こども科学館専門幹兼主査、尾崎光二文化財担当主査、戸井晴夫郷土資料館担当主査、木住野直彦郷土資料館担当主査
欠席者	柿崎博孝	
議 題	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長及び副会長の選任について 2. 会議録署名者の指定方法について 3. コニカミノルタサイエンスドーム及び八王子市郷土資料館上半期事業実施状況について 4. その他 	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ こども科学館事業実施状況（平成 25 年 4～9 月分） ・ 郷土資料館事業実績（平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月） ・ 「大久保長安没後 400 周年記念事業」事業計画書 	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長に小野一之委員、副会長に田野倉宏和委員を互選。 2. 署名委員の順番を決定。 3. コニカミノルタサイエンスドーム上半期事業実施状況について森専門幹兼主査から説明。続いて、八王子市郷土資料館上半期事業実施状況について木住野郷土資料館担当主査から説明。 <p style="text-align: center;">— 質疑応答 —</p> <p>小野会長 只今、両館の説明をしていただきました。 委員の方ご意見等ありましたらお願いいたします。 山中委員どうぞ。</p> <p>山中委員 コニカミノルタサイエンスドームという名前の響きは初めてです。私の勤める東京工芸大学はコニカミノルタが作った大学なので身近に感じました。ネーミングが変わったことによる影響はありましたか。</p> <p>牛山館長 8月の夏休みの真っ只中に名前が変わりましたが、混乱はほとんどありませんでした。また、問い合わせにつきましてもほとんどございました。</p> <p>山中委員 市民の皆さんに対する告知はどうされたのでしょうか。 牛山館長 ホームページ、広報紙のほか新聞にも掲載されました。また、小中学校にチラシを配布したほか、小中学校校長会にて話をさせていただきました。</p> <p>小野会長 ネーミングライツについて意見がありましたが、それについて何かありますか。</p> <p>吉田委員 コニカミノルタさんが付いたことによるメリットは。 牛山館長 メリットが出てくるのはこれからだと思います。スポンサーが付いていただきました関係で、新規展示物の購入を考えています。また、統計は取っていませんが、大人の入館者が増えているのではないかと感じています。</p> <p>小野会長 従来、ネーミングライツは、否定的な意見が多くありましたが、これが、市民の立場からするとどうなのかというところでご意見があれば。以前、公共施設をそんな形にしているのかということもありましたが、最初に導入されてから10年位経ったなかで、新しい展開が可能なのかなと思います。特にコニカミノルタさんは、有力なプラネタリウムの施設を持っておりまして、東京スカイツリーをはじめ、そういったところでソフト面での連携ですとか広報宣伝のメリットなども大いに期待できるのではないかと思います。その辺は如何</p>
-----------------------	--

	<p>でしょうか。</p> <p>牛山館長 導入の時、何故この会社を選んだのかとの質問がありましたが、こども科学館にあるプラネタリウムの会社がこの会社だったというのが理由のひとつであります。</p> <p>小野会長 吉田委員。</p> <p>吉田委員 プラネタリウムは3Dにならないのでしょうか。</p> <p>牛山館長 機械がリースの途中なので難しいと考えております。ソフト番組の充実を図って行きたいと考えております。</p> <p>森専門幹兼主査 3Dにするには、プロジェクターをもうワンセット買わなくてはならないことになり予算的にも難しい。日本でも3Dになっているのは2館位しかなく、いずれも国のような施設だけと思います。</p> <p>小野会長 藤岡委員。</p> <p>藤岡委員 天体を見るのは3Dである必要はないと思います。距離が遠いものを3Dで見るとメリットは少ないと思います。コミカミノルタは、カメラに強いので天体の写真の充実を期待したいと思います。それによって、入館者が増えるかと思えます。また、こども科学館2階のリニューアルで講座が開催できるようになったことに期待が持てるようになりました。それから、12月に彗星が来るので人数を稼げる期待をしております。</p> <p>一方、郷土資料館の入館者数が減っていますが、特別展「大久保長安と八王子」がプラスに働けば良いし、来年度新たな事を始めてみるのも良いのではないのでしょうか。</p> <p>小野会長 佐藤栄子委員。</p> <p>佐藤栄委員 こども科学館の実施状況を見ていますと実験が多く見られます。現在私たちの周りを囲む環境問題が深刻化していますが、それは科学を除いては考えられません。これからの時代を築いていく子供たちにとって、科学を教える事は重要ですが、子供が育っていく過程で大切なことは、人間と自然がどう付き合っていくかを自ら考えて行動しなければならないと思います。そのためには、地球上の生き物、つまり動物、植物等人間のみならず自然環境の中であらゆるものが少しずつ譲り合い、協調しあって生存している仕組みを知ることだと思います。そのために自然観察を通して未来を考えていくことにも重点を置いてみてはいかがでしょうか。</p> <p>小野会長 ありがとうございます。幅を広げる意味でもご検討をお願いします。</p>
--	--

	<p>いします。</p> <p>牛山館長 室内施設なので観察等の実施が難しいですが、一つだけフィールドワークとして浅川の化石観察会を行いました。これは、人気のある講座のひとつです。</p> <p>佐藤栄委員 科学技術も大切ですが、情緒的なものを育むフィールドワークが必要であると思います。</p> <p>牛山館長 ささやかながら、こども科学館では、浅川の魚を展示することも始めました。お子様の関心も高いですね。</p> <p>佐藤栄委員 そういう小さなことから始めて行くことが大切であると思います。</p> <p>牛山館長 少しずつ取り入れて行きたいと思います。</p> <p>小野会長 大村委員。</p> <p>大村委員 こども科学館事業実施状況の4講座等実施状況に協力団体が書いてありますが、こども科学館から団体に対して依頼しているのでしょうか。</p> <p>森専門幹兼主査 依頼文でお願いするところもありますが、双方にメリットがあるということから相談のうえ決定しております。</p> <p>大村委員 一般に協力者を公募していませんか。</p> <p>森専門幹兼主査 しておりません。イベントの実施に至る流れは、①団体からの依頼②こども科学館で実施が可能かどうかを検討③イベント実施というかたちになっております。</p> <p>小野会長 田野倉副会長。</p> <p>田野倉副会長 コニカミノルタの業者が入ることにより、会社の宣伝になるようなことをしてはいけない等の規約はありますか。コニカミノルタ技術について紹介することが、子供にとって良いものになるのではないかと思うので。</p> <p>牛山館長 あくまでも命名権名前に対するスポンサー契約となっております。運営に関しては影響ないと思っております。コニカミノルタの製品等の展示が可能であれば、協働事業等検討して行きたいと思います。</p> <p>小野会長 田野倉副会長。</p> <p>田野倉副会長 実は、浜松の科学館で地元のを展示していたことがあったので、こども科学館でも展示ができないのかと考えたところでした。もし、可能でありましたらご検討お願いします。</p> <p>牛山館長 協働事業を是非お願いしたいと思っております。</p>
--	--

	<p>小野会長 牛山館長がおっしゃられているようにネーミングライツというものは、元々お金は出すけど口は出さないということから始まっています。よって、過大な事は要求できないですし、また、それとは別に企業連携がありますが、それを混同してしまうと、ネーミングライツを提携した一社のみでの連携で、他社を排除しなくてはならなくなってしまいます。こども科学館では、多様な企業連携により道が開けてくるのではないかと思います。</p> <p>小野会長 大村委員。</p> <p>大村委員 こども科学館事業実施状況の4講座等実施状況中、‘光学・電子顕微鏡でさぐる昆虫の世界’の開催日数が1日ですが、電子顕微鏡はなかなか触れるチャンスがないので、もう少し日数を増やす方向に持って行った方が良いのではないかと思います。</p> <p>牛山館長 寄附でいただいた大変高価なものですが、活用の度合いが少なく苦慮しているところですが、操作ができる人間が一人で顕微鏡自体も一台のためこのような状況になっております。ご指摘のとおり何とかしたいと考えております。懸案事項であります。</p> <p>小野会長 藤岡委員。</p> <p>藤岡委員 先程、牛山館長が新規購入物を考えているとおっしゃっていましたが、新しい科学に関係するものを購入するチャンスなのではないかと思います。地球の歴史などやめてしまって、広い分野を検討してみるのも良いのではないかと思います。</p> <p>それから、野外の事業についておっしゃっていましたが、これはなかなか難しい問題がありまして、子供をなかなか野外に連れて行けない現状があります。親・学校等の問題により、野外はどちらかというとマイナスの面があって、危険のある野外に子供を連れて行けない状況にあります。それから、そもそも自然観察できる人を育てないと実施できないので、現状では難しいのではないのでしょうか。ボランティアの人などを教育するシステムを考えて行かない限り実施は難しいと思います。</p> <p>小野会長 佐藤栄子委員。</p> <p>佐藤栄委員 確かに野外観察は難しい面はあるかとは思いますが、講座のような中で話ができるかと思っています。</p>
--	---

	<p>小野会長 牛山館長。</p> <p>牛山館長 講座室ができましたので、自然系のものも実施して行きたいと思ひまして、ここで昆虫の話の講座を実施しました。今後、鳥の話の講座を実施して行きたいと思ひます。ただ、小さいお子さんが多いので、テーマを難しくしてしまうと来なくなってしまうのではないかと考へております。</p> <p>佐藤栄委員 よく理解している講師であれば、易しい講座を実施することは可能だと思ひます。</p> <p>小野会長 本田委員。</p> <p>本田委員 特別展「大久保長安と八王子」について。展示物を拝見させていただいて、とても歴史的にレベルの高い展示物となっていると感じました。小さいお子さんで大久保長安について分かっていない方が多いと思ひますので、小さい子が来て大久保長安についてどんな人なのか分かるようなスペースを作ると関心が深まるのではないかと感じました。</p> <p>小野会長 田島館長。</p> <p>田島館長 今回、上半期に特別展ができなかった最大の理由は、この大久保長安展です。</p> <p>大久保長安は、江戸幕府成立に力を尽くした人なのですが、最終的には、徳川幕府に処刑されてしまいます。こういった状況もあって、関連資料が少なく、学芸員が苦勞した展示でした。当然、金山・銀山奉行等しておりますので、佐渡や石見に資料は残っていますが、八王子との関係する資料は極めて少なかった。八王子は、徳川幕府の直轄領であったため、権力者の目を気にして、関係する資料は捨てられたのではないかと思ひます。このように、謎の多い大久保長安という人物ですが、今回は、あくまでもイントロダクションと考へておひまして、今後も研究を進めながら、大久保長安と八王子がどういった関係を築いて行ったのか成果等が出ましたら展示等も検討して行きたいと考へております。</p> <p>今回、難しい展示となったかもしれませんが、学芸員は頑張ったと感じておりますし、他市に誇れる展示になったのではないかと考へております。</p> <p>小野会長 戸井主査。</p> <p>戸井主査 今、お子様にもというお話がありました。が、スタンプラリーを文化財担当で実施しており、親子連れの来館者も多くな</p>
--	--

	<p>っております。そのような意味でも、お子様にも大久保長安を知ってもらえる良い機会になっているのではないかと感じております。</p>
小野会長	田島館長。
田島館長	大久保長安のスタンプラリーもホームページに載せておりますが、現在、各学校でもホームページを持っており、そのトピックスにも載せており、PRに努めているところであります。
小野会長	佐藤栄子委員。
佐藤栄委員	私は、出雲文化について本を書き、出雲はかなり長い期間足を運んだ場所であります。大久保長安が島根県大田市に関連があると知り、大変親しみが深く感じました。島根県大田市に資料は多く残っているのでしょうか。
戸井主査	残っているようです。ただ、今回は、準備する時間がなかったため、資料がありそうな場所を探り資料を集めたところです。今後、全国的に調べて行けたらと考えております。
小野会長	田野倉副会長。
田野倉副会長	長安の読み方は。
田島館長	資料としては、漢字しか残っていないので‘ちょうあん’、‘ながやす’どちらでも正しいと思います。ただ、両方使用すると混乱しますので、市としましては、‘ながやす’と読んでおります。
小野会長	吉田委員。
吉田委員	郷土資料館事業実績の3事業の開催状況中、「八王子かるたでいっしょに遊ぼう」に関連して質問させていただきます。 大久保長安は、八王子かるたに出てきます。今後、八王子かるたを普及させて行く観点で事業を進めて行く必要があるのではないかと思います。
小野会長	田島館長。
田島館長	基本的には、機を捉えてかるた大会を実施して行くということと、八王子かるたを各学校に配布しておりますので、各学校で有効利用を図っていただくということで、八王子かるたの普及に努めて行きたいと思っております。
吉田委員	八王子の歴史の基礎を普及させて行く意味において、大会やイベントとして進めて行くことが良いのではないかと思います。

	<p>小野会長 藤岡委員。</p> <p>藤岡委員 こども科学館についてですが、ネーミングが変わったので、従来のように子供を対象を絞るのではなく、大人をもっと取り込んで行く積極的な方針のようなものはありますか。</p> <p>小野会長 牛山館長。</p> <p>牛山館長 プラネタリウムの番組などでは、子供番組だけではなく、大人向けの番組を入れておりますので、それが最大のアピールポイントとなっております。</p> <p>また、周知の方法についてですが、集客のメインはやはり子供さんが多いですから、大人へのアピールにつきましては課題となっております。</p> <p>藤岡委員 私の質問は、館として今まで子供を主な対象としていたものを今度は、大人を取り込んで行くという気があるのかということをお聞きしています。そうしないと、集客数は増えないし、そもそも博物館であるという立場から考えると、子供のみ対象というのはおかしいのではないのでしょうか。大人にも来館してもらおうというひとつの節目ではなかったのかなという質問です。</p> <p>牛山館長 方針転換までは行っていないというか、現実的に集客のメインは、親子・子供さんというところになっておりますので、そこを逃すと逆に今の集客数を維持できないことがはっきりしております。名称は変わりましたが、集客のメインは親子・子供さん、プラスアルファで大人と考えておまして、そこまで大きく切り替えられないと思います。</p> <p>小野会長 今いろいろとお話が出たようにサイエンスドームは、平成20年にリニューアルオープンし、そろそろ賞味期限が来た頃にネーミングライツというインパクトを与えて、なかなかうまくやっているなと感じております。機器のリース期間も含めて、この先4年後・5年後の新しい展開を今から検討をして行きましょう。また、中身につきましては、サイエンスの枠組みの幅を広げて行くという課題もあるでしょうし、子供から大人にターゲットを広げて行く問題もあるかと思えます。これらのことを検討しながら、3年先・4年先の構想をして行くことができたかと思えます。</p> <p>また、郷土資料館につきましては、特別展「大久保長安と八王子」が非常に良かったという意見が多くありました。大</p>
--	--

久保長安という名前は他で良く聞きますが、実は八王子に縁があり、市民の方々に受けが良いのではないかと思います。ただ、私の方の自戒も込めて言えば、この企画がそもそも上から来たものであったと聞いております。没後 400 年ということもありますし、行政が考えていることは、わりと単純明快でありますので、こういった時こそ先手を打って企画を進めて行っていただければと思います。行政の方針というのにはある意味、市民の考え方とそうぶれていないと思いますので、上から来た話だったとはいえない機会だったと思います。これを機会に継続的なテーマの取り上げということを進めて行ければと思います。

よろしければ、コニカミノルタサイエンスドーム及び八王子市郷土資料館上半期事業実施状況につきまして終了いたします。

続きまして、議題 6 のその他ですが、事務局の方から何かありますでしょうか。

尾崎主査 大久保長安没後 400 周年記念事業につきまして話をさせていただきます。本事業は、文部科学省の「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業になります。文部科学省から市が委託を受けて事業を実施しているかたちとなっております。

本プログラムは、図書館や博物館を利用して、地域の活性化を図るというものです。従いまして、図書館・郷土資料館・コニカミノルタサイエンスドーム・市内の大久保長安に縁のある寺院等の協力を得まして進めているところでございます。また、大久保長安の会という市民グループにも市が協力をし、別に事業を進めているというところでございます。

具体的な実施内容としましては、甲州街道を中心に南側は郷土資料館、北側はコニカミノルタサイエンスドームを拠点としたスタンプラリー、特別展や講演会等の実施となっております。

次に、資料の 10 支援プログラムの評価にかかる項目についてですが、事業への参加者数 9,000 人位を目標にしております。また、アンケートを実施し参加者の満足度を評価するほか、事業終了後、八王子市博物館協議会におきまして事業実績を提示させていただきますので、各委員さんに事業評価を

行っていただこうと考えております。その節はよろしくお願
いいたします。

小野会長 他にありますか。森専門幹兼主査。

森専門幹兼主査 こども科学館では、藤岡委員さんを講師に講演会「海
洋と地球の科学」を開催いたします。皆様のご参加をお待ち
しております。

小野会長 事務局の説明は終わりました。

何か意見ありますか。

無いようですので、平成 25 年第 2 回八王子市博物館協議会
を終了させていただきます。有難うございました。